

「大阪府公立高校のアドミッションポリシー・ 学力検査問題の種類・倍率のタイプ」が発表

大阪府教育委員会より、「令和8年度大阪府公立高等学校アドミッションポリシー並びに学力検査問題の種類並びに学力検査の成績及び調査書の評定にける倍率のタイプ」が発表されました。その他、令和8年度大阪府公立高等学校入学者選抜についても同じページに記載されています。大阪府教育庁のHP（下記URL↓）にも載っています。志望校の内容を確認しましょう。

[令和8年度公立高等学校入学者選抜／大阪府（おおさかふ）ホームページ \[Osaka Prefectural Government\]](#)

夏休みの宿題について

夏休みの宿題が各教科から少しずつ配布されています。色々な教科で3年間の総まとめや復習の内容が宿題になっているようです。1学期中に1, 2年の復習に着手できた人は少ないのではないかと思います。学校の授業の復習をしながら、定期テストの勉強もして、行事や部活動も忙しく、あっという間に1学期が終わって復習まで手が回らなかった・・・という人が大半だと思います。夏休みは1, 2年生の復習をする最後の期間!です。

2学期が始まれば、また日々の授業に追われて復習にまで手が回りにくくなります。この夏休みに、どのように1, 2年生の復習をするかは、受験に大きく影響してきます。

夏休み明けにはとても重要な実力テストがあります。実力テストというのは入試を想定しているテストなので、これまでの学習内容全てがテスト範囲です。英語や国語の問題文も初見になります。他の教科も、渡された問題集と同じ問題が出るというわけではありません。問題文が長くなり設定が難しくなるので、問題の意図を読む力も必要になります。夏休みはとにかく部活動と両立して実力テストに向けて勉強を進めていきましょう。

夏休みの宿題は、先生たちが「最低限これだけはしてほしい!」と思う内容であって、これで十分というものではありません。嫌々、仕方なく、渋々・・・といったモチベーションで取り組む人が多いようです。

ただ、宿題に対する意識を変えることで効果が違ってきます。それはトレーニングに似ているところがあると私は思っています。トレーニングを行う際には、今、自分が使っている体の部分に意識を向けることで、効果が上がるようです。

鍛えようとしている筋肉に意識を向けないでいると、他の筋肉が支えようとしたり、勢いや反動をつけてトレーニングをこなすように体が動いてしまいます。その結果、トレーニング効果が薄くなります。これを宿題に置き換えると下記のようになります。

レベル	取り組む姿勢	効果
1	提出のために、やっつけで終わらせようとする。間違えたところは赤で答えを写して終わり。	深く考えようとしないうえ、効果は少ないです。訂正箇所へのフォローがないため、実力の伸びは期待できません。
2	宿題を通して、自分の実力を確認しようとする。訂正箇所は解説や教科書を読み理解しようとする。	丁寧に取り組む姿勢がみられ、一定の効果が期待できます。ただ、訂正箇所の解説を読むだけでは、‘わかったつもり’で終わっている可能性もあります。
3	時間を意識して、集中してミスなく解こうとする。間違えた問題は解き直しを繰り返して、完璧に理解する。	実践的な状況を想定しており、最も効果的に取り組んでいます。訂正箇所へのフォローもできており、実力アップが期待できます。

いかがでしょうか？みなさんの取り組みの姿勢はどのレベルでしたか？同じ時間と労力を使うのであれば、より効果の高い方法にしませんか？宿題を通して実力を伸ばしましょう！

1 学期個人懇談

3年生の三者懇談では、1, 2年生の評定と3年生1学期評定が記載された個票を渡します。

1, 2年生の評定に間違いがないことを通知票と照らし合わせて確認してください。

万が一、評定が間違っている等、疑問があれば担任の先生に伝えてください。また懇談では、現時点でどのような進路を考えているのかを聞きます。懇談までに一度、保護者の方と進路について話し合っておいてください。まだ具体的な志望校にまでつながっていない人もいますので、大まかな希望で構いません。進路についての質問や心配なことがあれば、些細なことでも、是非この機会に担任の先生に聞いてください。

また、今から少しずつ毎日勉強する習慣をつけておけば、夏休みの初めには軌道に乗った状態で勉強をスタートできます。夏休みの勉強についても、質問や心配なことがあれば、懇談で担任の先生や、夏休みまでに各教科担当の先生に聞いてください。